

情報・システムサイエティ会長 藤井俊彰

情報・システムサイエティでは、合意と共創研究専門委員会（略称 Consen）が 2024 年 4 月 1 日から新たに発足致します。人々は集団で協力するために、合意し共創することで、新しい道具、アイデア、社会システムを発明し、進化を遂げてきました。人々間の合意や共創の理論、モデル、シミュレーション、その応用は大変学際的かつ重要なテーマである一方で、近年のインターネットやソーシャルネットワークの劇的な発展により、人々のコミュニケーションの在り方自体が変化してきています。本研究会では、情報通信技術を前提とした合意や共創の仕組み、システム、その応用について議論を深めるとともに、人間社会の根源的な活動である合意と共創について、仕組みの解明、支援システムの構築、学際的研究についての意見やアイデアの交換、及び学術コミュニティ発展の場を提供します。新しい研究会に積極的に御参加下さいますようお願い申し上げます。

——研究専門委員会新設について——

●合意と共創研究専門委員会（Consen）

委員長 伊藤孝行

合意と共創研究専門委員会（略称：Consen）は 2024 年 4 月 1 日から発足致します。

委員会設立の趣旨

人々は集団で協力するために、合意し共創することで、新しい道具、アイデア、社会システムを発明し進化を遂げてきました。人々間の合意や共創の理論、モデル、シミュレーション、その応用は、学際的かつ根源的なテーマです。

更にインターネットやソーシャルネットワークの劇的な発展により、人々のコミュニケーションの在り方自体が変化しています。すなわち、世界中どこにいても、瞬時に繋がっている状況が実現されています。これはハイパーコネクティブティと呼ばれ、人類が誕生以来初めて直面する状況です。ハイパーコネクティブティな状況での、合意や共創を探求することが極めて重要です。すなわち、本研究会では、情報技術を前提とした、今後の合意や共創の仕組み、システム、その応用について議論を深めたいと思いま

す。

合意は、人類が協力関係を築き、平和で公平な社会を構築し、世界各地で現実的に展開される紛争を解決するために重要です。

ゲーム理論、意思決定、AI、マルチエージェント、紛争、調停、政策決定、シミュレーションなどの各分野で研究が進んでいます。キーワードとしては、合意形成、意思決定、ゲーム理論、ナッシュ均衡、メカニズムデザイン、協力ゲーム、交渉ゲーム、人工知能・マルチエージェントの自動交渉、合意メカニズム、社会シミュレーション、プロセスデザイン、紛争合意、法的合意、調整、調停、市民参加、社会的受容、手続きの公正、政策決定、社会的合意形成、ゲーミングシミュレーション、合意情報学、コレクティブインテリジェンスやその関係キーワードです。

共創は、様々なステークホルダと協働して共に新たな価値を創造することであり、正に人類にとって重要な活動です。特に、ハイパーコネクティブティな状態での共創は、これまでの共創プロセスを更に進化させたプロセスとなります。共創をキーワードにして、問題解決、創造学、発想支援、知識科学、デザイン学、建築デザイン、都市計画、AI、マルチエージェント、CSCW、ユーザインタフェース、身体知、身体的インタラクション、創造情報学、シビックテック、クラウドソーシングなどの各分野で研究が進んでいます。また、共創の研究を進める上で共創の基礎となる創造性や発想の学術的基礎が重要になります。個人の創造性、デザイン方法論、芸術創作過程、デザインコンセプト、創造工学、スタートアップなども関連し、更には創造性教育や理数科系教育も重要なトピックで広く議論されています。

合意と共創は、人間社会を豊かにするために重要な人類の根源的な活動であり、これらの仕組みの解明、支援システムの構築、学際的研究についての、意見やアイデアの交換及び、学術コミュニティ発展の場として、本研究専門委員会を創設します。

合意と共創研究専門委員会並びに研究会への御協力及び御支援をよろしくお願い致します。

研究専門委員会名称：合意と共創研究専門委員会

研究会名称：合意と共創研究会

英文名称：Consensus and Co-creation Design

略記号：Consen

発足時期：2024 年 4 月

